

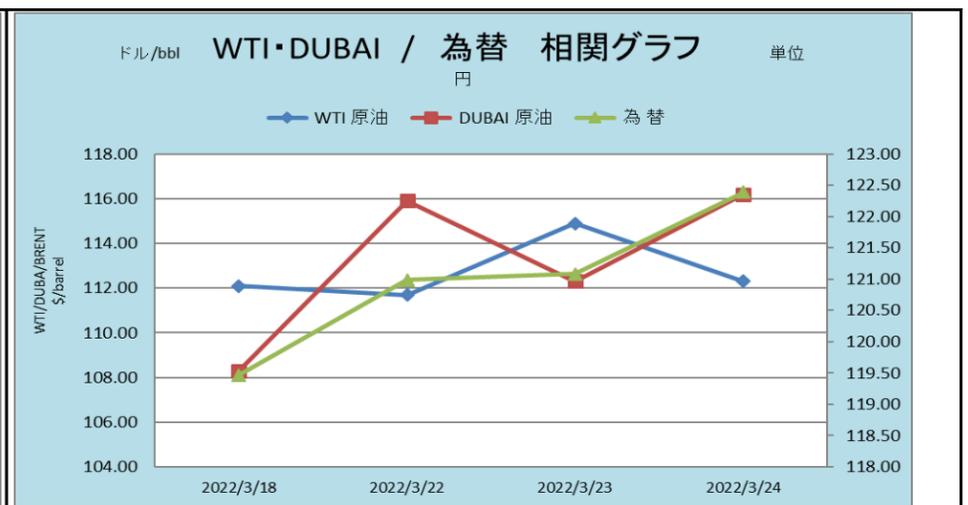
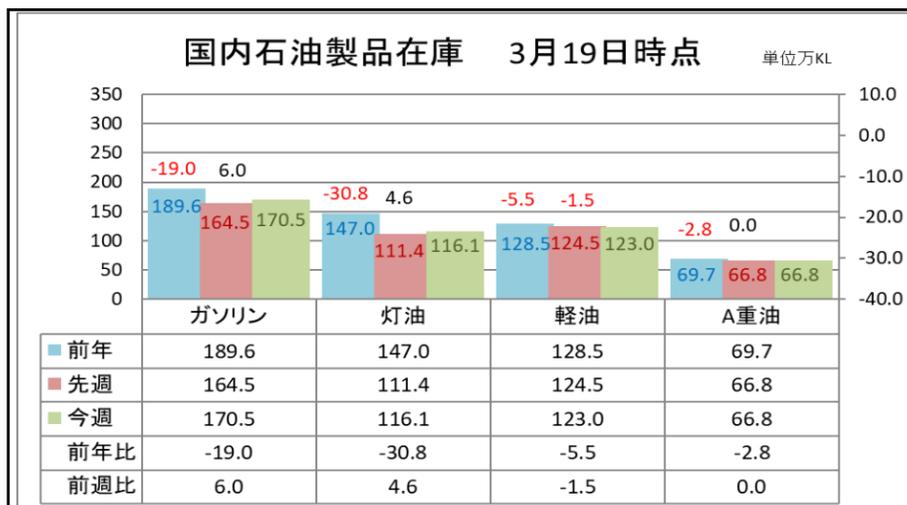
イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/3/25作成 (株)新出光

【概況】<ロシアに対する追加制裁 >

- 18日、ロシアとウクライナの停戦交渉は目立った動きがなく、ウクライナボドリャク大統領府顧問は「交渉は複雑で当事者の見解は異なっている」と指摘し、停戦に至るにはまだ時間がかかるとの観測が強まり原油が買われWTI原油は104.7ドルとなりました。
- 21日、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が続く中、ウクライナ支援や対ロシア追加制裁を首脳会談にて協議する予定です。これに伴いEUも米国に続きロシア産石油輸入の禁止処置に踏み切るとの観測が浮上し、国際市場でのエネルギー供給逼迫に拍車が掛かるとの懸念が再燃しWTI原油は112.12ドルとなりました。
- 22日、米連邦準備制度理事会(FRB)による大幅利上げ観測を背景に、外国為替市場でドル買いが先行し、ドル建てで取引される原油先物の割高感につながり、WTI原油は111.76ドルに上昇しました。
- 23日、カザフスタンとロシアをつなぐ送油管を運営するカスピアン・パイプライン・コンソーシアム(CPC)経由の輸出が、悪天候被害で支障が生じているとの報を受け、原油は買われ114.93ドルに上昇しました。
- 24日、石油の主要消費国が加盟する国際エネルギー機関(IEA)の閣僚理事会は、ロシアのウクライナ侵攻による石油・ガス価格の高騰を抑えるため、グランホルム米エネルギー長官が記者会見で追加的な石油備蓄の協調放出について検討していると報告されました。

3月25日 | 17:00現在 | WTI原油 | 112.23ドル | 為替 1ドル | 121.89円



次回元売変動予測

	3/31~	元売変動予測
ガソリン	➡	+2.6~+3.6
灯油	➡	+2.6~+3.6
軽油	➡	+2.6~+3.6
A重油	➡	+2.6~+3.6
LSA	➡	+2.6~+3.6

【製品卸価格】<月間玉販売開始>

◀今週▶ 今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「-8.0円」、補助金「-18.6円」となり、実質「-1.6円」の値下げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの21日時点の小売価格平均は174.6円となっております。今週は、元売月間玉を所有する業者が市況を形成し積極的に枠消化を進めています。

◀3月26日以降▶ 次回の元売り改定は、原油コスト「+9.0円~+10.0円」の値上げ改定予測(サウジアラビア調整金+0.44円含む)で、激変緩和補助金は「-25.0円」の見込みで、都合「+2.6円~+3.6円」の値上げ改定の予測となっております。月間玉を所有している業者は、ほぼ枠消化が進んでおりますが、中間油枠を残している業者は、販売を強化しています。終了した業者から徐々に市場から撤退していき安値玉が、払拭され市況は改善される可能性があります。桜が開花し始め、灯油の需要も日々停滞する中、枠消化が進んでいない業者は、特に東北地区での販売を強化しております。

※原油コスト「+9.0~+10.0円」
 激変緩和補助金「-25.0円」
 ※現時点での予測です。

【次世代エネルギー】<日本を産油国にする>

筑波大学 生命環境系 研究フェロー、MoBioIテクノロジーズ会長の渡邊信様が、脱炭素社会の実現のためにすすめている藻類バイオマス燃料の研究が注目を集めています。藻類は地球上最古の生物のひとつで、地球の大気をつくったと言われ昆布やワカメ湖沼などにいる微少な藻類まで含めると4万種類も存在しこれを高温高压で処理することによりバイオ原油を生産する研究をしています。藻には優位性があり、トウモロコシのような穀物エネルギーに比べ、300~800倍ものオイル生産能力があり、また低炭素の観点からも有益とのこと。昨年10月EU国際科学誌に投稿し論文が受理され、その後生産可能数量を試算したところ現在の日本の年間原油輸入量の1億3600万トンが可能とのこと。引き続き研究を重ねて安定した商品及び現在より安価な物を生産出来る様、目指しています。

[出典] ① https://www.excite.co.jp/news/article/President_55620/